



# CAMPUS

Vol. 131

## 2018 AUTUMN

### 奈良工業高等専門学校

平成30年12月発行

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22

奈良工業高等専門学校 広報センター

TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)

ホームページ <http://www.nara-k.ac.jp>

メールアドレス [gakusei@jimu.nara-k.ac.jp](mailto:gakusei@jimu.nara-k.ac.jp)



ISTS2018 国際セミナー



しなやかエンジニア教育プログラム



秋季スポーツ大会



ロボコン近畿地区大会

## 第52回 高専祭



## C contents

- 巻頭言 ..... 02
- カリキュラム改訂
- しなやかエンジニア教育プログラム ..... 03
- 大学編入学等合格・就職内定状況 ..... 04
- 学外実習(インターンシップ)報告 ..... 05
- 学校行事の紹介
- 学生の活躍 全国大会出場報告など ..... 06

- 留学生の活動報告・前期学生表彰受賞者 ..... 07
- 学生会新役員・クラブ・同好会紹介 ..... 08
- KOSENセキュリティ・コンテスト2連覇!
- ロボコン近畿地区大会報告
- ISTS 2018 国際セミナー報告 ..... 09
- 国際交流活動報告 ..... 10
- カウンセラーだより ..... 11

## I information

- ☆高専スペースキャンプ2018最優秀賞受賞!
- ☆単車安全講習会の報告
- ☆平成31年度 入学者選抜日程
- ☆行事予定(12月~3月)



榊原 和彦

校長補佐(総務担当)

何かと「特異」なことが多かった2018年も残り少なくなってきました。

今年は関西でも大きな地震があったり、「災害的な」酷暑の夏だったり、逆走する台風12号や大きな被害をもたらした台風21号などもありました。

本校においては大きな被害はなく、速やかに日常の風景が取り戻せたことは、大変な幸運だったと感じています。

ただ、この幸運を得られたのは、開校以来その時々教職員の皆さんが、色々な状況を想定して、校舎の配置や構造を創意工夫されてきたからだと思います。

その流れを引き継ぐべく、今年も多くの工事が学内で行われました。大規模なものもあったため、授業中にも大きな音がしたり、普段の通路が通行止で、迂回する必要があると学生のみなさんにはご不便をおかけしました。昨年度からの工事を含めリストアップしてみると、

● **ものづくり実験実習棟(旧実習工場)：**

全面改修し、使いやすく待望の空調設備も入りました。

● **基幹・環境整備2期、3期(名前では分かりにくいですが、**

**全学的に地面を掘り返していた工事です)：**

学内の排水を統一して更新しました。地面を掘り返した後処理として、舗装も全面的にやり替えられ、段差も少し減っていると思います。場所によっては、学生のくつろげるスペースになっていますよ。

● **合同教室改修：**

階段教室から、床面の平らな教室へと変わりました。待望の空調施設も入っています。教室が手狭になった情報工学科2年生が利用していますね。

● **地域創生交流室(旧LR教室)改修：**

大きな教室となり、視聴覚設備も更新されています。待望の空調施設も入っています。

● **物質化学工学科棟のエレベータ設置：**

物質化学内の移動がバリアフリーになるように設置されます。あわせて、物質化学と情報の間に渡り廊下がつきます。これで、3学科棟の教室へ(回り道はあれど、)段差なしで移動できることになります。

以上のどれも、安全性や衛生環境の確保、バリアフリー、機能の向上を目指したものとなっています。便利になったと実感しにくいかもしれませんが、不便であった要因を取り除く地道な改善と考えています。また災害が起こった時に、このキャンパスが少しでも学生や地域の方の手助けとなる施設になっていれればと思います。

ところで、災害時の対応として、大きな施設で公的なサポートだけに頼るのではなく、個人やそれぞれの家庭で準備できるものは準備しておくという考え方が広まってきています。学生の皆さんも非常時の食料や日用品の準備を自分で考えてみてはどうでしょうか?色々な想定をして何が必要か考えてみる(シミュレーション)のは、いざという時の最大の備えになります。

最近では、必要性の高いものとして多くの人が思い至るのがスマホ(とその充電方法)かもしれません。確かに、多くの情報を得る窓口にもなり、重要な情報を発信する窓口にもなる必需品ですね。

一方でその有効性と裏腹に、災害時だからこそ、デマや悪意のある情報が流されることもあります。残念なことにこれらを遮断する(高学年で出会う論文の査読はこれをするシステムです)アプリなどは今のところなさそうです。ではどうするか?

「ネット上で見つかる情報は、自分の考え(思い込み)を補強するものばかりになる」という偏りが起きることを知っておくことだと、私は思います。もちろん本来ネットの上には無数の考え方や無数の意見があります。でもあなたの検索や目につくもの、興味を引くものは、あなたが無意識に、もしくは意識的にふるいをかけた結果なので、あなたが見たい、聞きたい情報ばかりになってしまいます。

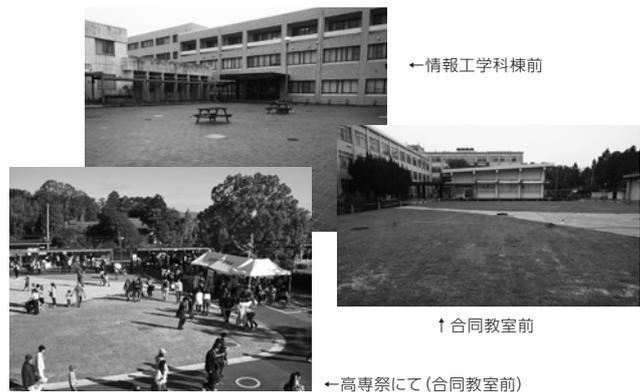
人を騙す基本は「相手が聞きたいと思っている言葉を与えること」だそうです。スマホを見ている時に、あなたが自分で選択したつもりでも、騙される側になっている可能性に注意しておくことが賢く情報を利用する鉄則だと思います。

スマホの向こうに何があるか。自分と同じような人たちの生活。それ以外にも、善意や悪意や見ず知らずの文化や知識まで。そんな世界の存在をイメージしていないと、いくら画面を見ていても向こう側を垣間見することもできません。スマホを通じたネットの向こう側(外の世界)には、自分の「楽園」ではない世界も広がっている。知らない世界に対峙する時は、正しく怖がり、正しい情報を得るために、視野を広げて考えることを皆さんに期待しています。

もしかしたら、今はスマホの中で自分を傷つけないものを集めた箱庭が救いになっている人もいるかもしれません。あわてる必要はありませんが、その向こう側があることはいつも心に留めておいてもらえればと思います。

スマホの向こうに広大な世界があることは、なにもネット上の仮想空間だけに限りません。実空間でもあなたの見ている「スマホの向こう側」には、同様に広大な世界が広がっています。

それを認識していないと、あなたが歩きながら見ているスマホの向こう側では、壁や人、もしかしたら自動車や敵性宇宙人があなたに向かってきているのかもしれないよ。



←情報工学科棟前

↑合同教室前

←高専祭にて(合同教室前)





こんにちは。事前にお伝えしていたように、以下に来年度からのカリキュラム改訂にあたって学修単位を積極的に導入することの主旨や目的について述べます。

まずは高専に学修単位が導入された経緯についてふれておきます。2005年9月に高等専門学校設置基準が一部変更され、各高専の判断で45時間の学修をもって1単位とする学修単位(いわゆる大学単位)を開設60単位を限度に導入できることになりました。この改定の目的は、高等専門学校にも大学と同様に授業に自学自習を学修時間と認め、授業形態、授業方法に多様性を持たせることでした。学修単位は高等教育機関としての国際的単位基準に準拠していることの証明であり、高専の単位計算を大学と同じにすることで、高専以外の高等教育機関との授業の互換性を高め、学生の単位取得互換・編入などが円滑に実施できるといった利点がありました。

翌2006年度から、本校にも学修単位の科目が導入されました。「学生生活のしおり」p26-27でも説明しているように、このときから4・5年生対象の科目は、実験、実習、卒研、実用英語、海外協働研修、異文化交流を除き、すべて学修単位 $\alpha$ か学修単位 $\beta$ の科目となりました。また、3年生以下対象科目の単位はすべて履修単位でした。

学修単位 $\alpha$ の科目は、1単位を修得するにあたって教室での授業時間が15時間と家庭などでの自学自習時間が30時間の合計45時間の学修時間を必要とします。学修単位 $\beta$ の科目は、1単位を修得するにあたって教室での授業時間が30時間と家庭などでの自学自習時間が15時間の合計45時間の学修時間を必要とします。履修単位は1単位を教室での授業時間30時間のみで修得できる(自学自習時間が規定されていない)単位です。

このうちの学修単位 $\alpha$ が、いわゆる大学単位にあたるものです。学修単位 $\beta$ は教室での学びを重視した単位ではありませんでしたが、大学単位とは異なるため、編入や留学時に実際には大学と同じ時間授業を受けても単位数としては半分にしか数えてもら

えない点、また、授業時間が2倍必要なため、時間割が圧迫されて窮屈になり、自ら学ぶための時間的な余裕がなくなるという点では短所と言えました。

・1学修単位=学修時間45時間

教室での授業時間15時間	自学自習時間30時間
--------------	------------

・1履修単位=学修時間30時間

教室での授業時間30時間
--------------

この度のカリキュラム改訂にあたり、これまで3種類あった単位を来年度からは、上の図のように学修単位(大学単位)と履修単位(高専単位)の2種類に整理することにしました。実施カリキュラム表で特に断りのない科目は履修単位です。

これまでは本校での大学と同等の学修単位(従来の学修単位 $\alpha$ )は、各学科でそれぞれ数科目程度に留まっていた。これが来年度からは、学科により差はありますが、4・5年生の科目合計で10数科目程度になります。この学修単位科目の積極的導入は、設置基準改定当初の目的や利点をふまえたうえで、教育や学修の方法をさらに進化させるためのものです。3年生以下対象科目にも多少ですが導入しています。教員が「何を教えたか」ではなく、学生が「何を学び、何ができるようになったか」が問われる教育観・学修観の変化に対応するためにも、学生の皆さんの自学自習を促す科目構成を企図したカリキュラム編成がより重要になってきます。

来年度からの新カリキュラムは、低学年生は履修単位が中心で教員から多くを学ぶことができ、高学年生は学修単位の科目の増加により、より自分自身で学修を進めていける単位構成になっています。学生の皆さんは是非このカリキュラム改訂の主旨や目的を理解して、より一層学修に励んでいただきたいと思います。

## 女性エンジニアリーダー養成のための「しなやかエンジニア教育プログラム」について ～異分野教育を通して感性と表現力を磨く～

しなやかエンジニア教育プログラム担当  
特命教授 顯谷 智也 子



女性エンジニア特別講演会の様子

多様な担い手が集まる生産の場で新しい価値を持ったモノ・コトを作り出すことができる「豊かな感性・表現力」を備えたエンジニアリーダーの育成を目的として、確かな工学教育に加え、異分野の知識、経験を通じ、自身の感性や表現力を磨く「しなやかエンジニア教育プログラム」を実施いたします。

本教育プログラムは、文部科学省の2018年度“KOSEN(高専)4.0”イニシアティブ事業に採択され、来年度からの本格実施に先立ち、本年度は試行プログラムを実施しております。

近年の急激な産業のグローバル化や異分野技術の融合複合化により、求められるエンジニア像が変化しております。このような社会情勢を踏まえ、奈良高専では2019年度より、

試行プログラムでは、7月13日(金)に開講式を行い、その後、奈良女子大学、奈良教育大学と合同で「藍染ワークショップ」を実施しました。本ワークショップでは、「各高専・大学を訪問した外国からのお客様に渡す奈良を表現した土産物の作製」を課題テーマとした問題解決型学習を実践し、藍染に関する講義(1日間)と藍染制作実習(3日間)を通じた異分野の体験により、日本の伝統文化に対する興味の涵養や、多視点で物事を考えられるしなやかな発想力の養成をめざしました。また、今回、学校や学年、学科を超えた幅広いメンバーが参加した共同制作体験を通じ、多面的な感性のぶつかり合いからイノベーションをカタチにしていくために重要なチームワーク力(チームビルディング)の



奈良をイメージしたタペストリー制作(蠶描きの様子)



育成も行いました。

また、企業で活躍する女性エンジニア特別講演会を開催しています。講演会には、実際の企業の現場で活躍されている女性エンジニアのかたをお招きして、「企業で活躍する女性エンジニアからのメッセージ」をテーマに、女性エンジニアが働く実際の職場の状況や、これまでのエンジニアとしての経験(成功体験や失敗体験)、キャリアアップなどについて講演頂いています。そして、10月には株式会社ワコール様と大阪ガス株式会社様から女性エンジニアのかたに登壇頂きました。また、11月には「デザインを知られば考え方も変わる」と題して、デザイナーの思考に基づく物事の本質の考え方について学びました。さらに12月にはダイキン工業株式会社様から登壇頂く予定です。また、来年1月には「発想を促すコミュニケーションスキル」として、コーチングについて学びます。

このように、奈良高専では、工学知識に加え多様な視点で物

事を考え、発想できるエンジニアリーダーの育成に積極的に取り組んでおります。このプログラムは女子学生を主なターゲットにしており、政府の女性活躍加速のための重点方針である「我が国において、生産性を向上させ、バランスのとれた持続可能な社会を実現するためには、異分野融合によるイノベーションが必要であり、さらに、国際的な競争力の維持・強化に向けては多様な視点や発想が不可欠であることから、女性研究者・技術者の活躍促進が重要である。」に合致したものです。社会変革を推し進めていく上で、高専の果たす役割は極めて重要と認識しており、奈良高専から全高専に向けて発信していく所存です。



奈良をイメージしたタペストリー制作(作品紹介の様子)

## 進路対策協議会から

### 平成30年度 第5学年 大学編入学等合格状況

(平成30年11月30日現在)

大学名	学部名	人数	筑波大学	理工学群	2	香川大学	工学部	1
大阪大学	基礎工学部	2	筑波大学	生命環境学群	1	高知大学	理工学部	1
大阪大学	工学部	5	群馬大学	理工学部	1	長岡技術科学大学	工学部	9
大阪工業大学	応用化学工学部	1	東京農工大学	工学部	1	豊橋技術科学大学	工学部	8
東京工業大学	生命理工学院	1	電気通信大学	情報理工学域	2	大阪府立大学	工学域	7
東京工業大学	情報理工学院	1	新潟大学	工学部	1	岩手県立大学	ソフトウェア情報学部	1
北海道大学	工学部	1	金沢大学	理工学域	4	同志社大学	理工学部	2
三重大学	工学部	5	福井大学	工学部	2	同志社大学	生命医科学部	2
京都工芸繊維大学	工芸科学部	5	岐阜大学	工学部	1	同志社大学	文化情報学部	2
奈良女子大学	理学部	2	名古屋工業大学	工学部	2	立命館大学	理工学部	1
奈良女子大学	生活環境学部	1	岡山大学	工学部	2	奈良工業高等専門学校	専攻科	62
和歌山大学	システム工学部	1	広島大学	理学部	1	舞鶴工業高等専門学校	専攻科	1
筑波大学	情報学群	1	山口大学	工学部	3	合計		146

### 平成30年度 専攻科修了 予定者 就職内定状況

(平成30年11月30日現在)

企業名	人数
クオリカプス(株)	1
(株)ヒラノテクシード	1
追手門学院小学校(教職員)	1
サントリーホールディングス(株)	1
富士通エフサスシステムズ(株)	1
ゾーホージャパン(株)	1
ハイウェイ・トール・システム(株)	1
三菱ガス化学(株)	1
オリエント化学工業(株)	1
合計	9

### 平成30年度 専攻科 大学院合格状況

(平成30年11月30日現在)

大学院名	研究科名	人数	筑波大学大学院	生命環境科学研究科	1	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	19
東北大学大学院	工学研究科	2	大阪大学大学院	基礎工学研究科	1	岡山大学大学院	自然科学研究科	1
東京大学大学院	工学系研究科	1	大阪大学大学院	工学研究科	3	長岡技術科学大学院	工学研究科	1
千葉大学	融合理工学府	1	京都大学大学院	エネルギー科学研究科	1	東京理科大学大学院	理学研究科	1
東京工業大学大学院	物質理工学院	2	京都工芸繊維大学院	工芸科学研究科	4	合計		38

### 平成30年度 卒業予定者 就職内定状況

(平成30年11月30日現在)

企業名	人数	花王コスメプロダクツ小田原(株)	1	島津プレジジョンテクノロジー(株)	1	パナソニック(株)アプライアンス社	2
旭化成(株)	3	(一財)カケンテストセンター	1	シャープ(株)	1	パナソニック(株)グローバル調達社	1
(株)アルメックス	1	川重車両テクノ(株)	1	新明和工業(株)	1	(株)ヒラノテクシード	1
eBASE(株)	1	関西電力(株)	1	(株)SUBARU	1	不二製油(株)	1
(株)イチネンTASCO	1	キャノンメディカルシステムズ(株)	1	第一三共プロファーマ(株)	1	(株)富士通エフサス	1
ANAベースメンテナンステクノス(株)	2	牛乳石鹸共進社(株)	1	ダイキンレクザムエレクトロニクス(株)	1	藤本化学製品(株)	1
エキサイト(株)	1	京セラ(株)	1	ダイキン工業(株)	5	マルホ(株)	1
江崎グリコ(株)	1	(株)クボタ	2	(株)椿本チエイン	1	味覚糖(株)	1
(株)NTTデータSBC	1	(株)呉竹	1	(株)ティ・アイ・ディ	1	三井化学(株)	1
(株)エヌ・ティ・ティネオオミット	1	月桂冠(株)	1	電源開発(株)	1	森永乳業(株)	1
(株)エム・システム技研	1	ケンコーマヨネーズ(株)	1	東海旅客鉄道(株)	1	ヤンマー(株)	1
王子マテリア(株)	1	(独)国立印刷局	1	東京地下鉄(株)	1	雪印メグミルク(株)	1
(株)大阪ソーダ	1	コニカミノルタジャパン(株)	1	西川計測(株)	1	理研ビタミン(株)	1
大阪ガス(株)	2	サントリープロダクツ(株)	1	西日本高速道路(株)	1	(株)USEN-NEXT HOLDINGS	1
オムロン(株)	1	(株)シーアールイー	1	(株)ニチダイ	1	ユニチカ(株)	1
花王(株)	1	シオノギ分析センター(株)	1	日鉄住金レールウェイテクノス(株)	1	合計	72





本校では、学生が自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験等を目的とし、本科4年次の選択科目および専攻科の必修科目として『学外実習(インターンシップ)』を設定しています。本科4年生は夏季休業期間に5日間以上、専攻科生は長期休業期間を中心に10日間以上の就業実習に取り組んだ上で、業務日誌や実習報告書等の提出ならびに各科で開催される報告会での発表によって単位が認定されます。

本年度は、本校からの依頼に対する回答に公募制の企業等を加え、合計275件の募集案内をいただきました。企業においてはキャリア教育の観点はもちろんのこと、参加学生に社風や業務等の理解を深めてもらう機会としてインターンシップを積極的に活用されていることがうかがえます。また、公募制の企業が増加傾向にあり、応募に際しては十分な事前準備が必要となります。実習先企業の決定にあたっては、例年5月以降、各学科・専攻科においてガイダンスと事前講習が行われた後、受け入れ可能企業等の情報提供と参加学生の調整・決定が行われます。

本年度の学外実習では、本科4年生147名(機械工学科33

名、電気工学科27名、電子制御工学科27名、情報工学科33名、物質化学工学科27名)、専攻科学生12名(システム創成工学専攻・機械制御システムコース3名、電気電子システムコース1名、情報システムコース4名、物質創成工学専攻4名)が下表に示す企業等での就業実習に参加させていただきました。本科4年生では在籍学生の76%が参加しており、学生からは実習内容はもちろんのこと、先輩社員の方々や他高専生との交流等を通して有意義な経験が得られたと聞いています。将来のキャリアを具体的に思い描く貴重な機会の一つとして、来年度以降も学生の積極的な参加を期待しています。

最後になりますが、本校学生の受け入れをご快諾いただきました企業等の皆様、各学科・専攻科において学生の事前指導や実習先企業の調整、実習期間中の視察等にご尽力いただきました教員の皆様、また、インターンシップ参加学生を対象とした事前講習特別講演会においてビジネスマナーなどについてご講演いただきました奈良県高田しごとセンター 就業相談員の板倉 利治 様、ならびに関係いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

## ●本科実習先企業一覧(99社、3大学)

AGC(株)	大阪シーリング印刷(株)	塩野義製薬(株)摂津工場	東和薬品(株) 大阪工場	(株)フジシール
ANA整備センター教育訓練部	大阪油化工業(株)	四国電力(株)	(株)トラスト・ネクストソリューションズ	不二製油(株)
(株)CA Tech Kids大阪支社	奥地建産(株)	(株)資生堂 大阪工場	ナプテスコ(株)津工場	北陸先端科学技術大学院大学
eBASE(株)	花王(株)和歌山工場	島津プレシジョンテクノロジー(株)	奈良OAシステム(株)	(株)マイスターエンジニアリング
(株)JALエンジニアリング	(株)カネカ 滋賀工場	ジャパンマリユニテッド(株)	(株)ナリス化粧品	(株)前川製作所
(株)LIXIL 上野緑工場	河村繊維(株)	(株)昭和設計	西日本高速道路(株)	マルホ発條工業(株)
(株)NTT-ME	関西電力(株)	住友精化(株)	日揮(株)	三菱ガス化学(株)
(株)NTTフィールドテクノ関西支店	(株)かんでんエンジニアリング	第一工業製薬(株)	日新電機(株)	三菱重工(株)
TANAKAホールディングス(株)	(株)菊水製作所	ダイキン工業(株)	日鉄住金レールウェイテクノス(株)	三菱電機(株)通信機製作所
TOA(株)	キャノン(株)	ダイジェット工業(株)	日本オーチス・エレベータ(株)	三菱電機ビルテクノサービス(株)
(株)アウトソーシングテクノロジー	キャノンメディカルシステムズ(株)	(株)ダイセン 奈良営業所	日本放送協会大阪放送局	三星ダイヤモンド工業(株)
旭化成(株)	牛乳石鹸共進社(株)	大同薬品工業(株)	日本空港テクノ(株)	(株)宮本金型製作所
アスカ工業(株)	京セラ コミュニケーションシステム(株)	田岡化学工業(株)	日本原子力発電(株)	ムラテックCCS(株)
(株)アットウェア	(株)クボタ	(株)タカヤコミュニケーションズ	日本原燃(株)	(株)明電エンジニアリング
池田糖化工業(株)	ケンコーマヨネーズ(株)	(株)タナベ	日本制御(株)	大和鋼業(株)
出光興産(株)	コニカミノルタジャパン(株)	(株)ティ・アイ・ディ	日本ニューマチック工業(株)	(株)ヤマナカコーキン
(株)伊藤金属製作所	佐藤薬品工業(株)	テクノス(株)	日本ニューロン(株)	山梨大学工学部
内田産業(株)	三栄ハイテックス	電源開発(株)	(株)ハイマックス	理研ビタミン(株)大阪工場
エムオーテックス(株)	サントリーホールディングス(株)	東芝インフラシステムズ(株)	パナソニック(株)AIS社デバイスソリューション事業部 宇治工場	
王子マテリア(株)祖父江工場	三洋化成工業(株)	東北電力(株)	パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社	
大阪ガス(株)	三和工機(株)	東レ・カーボンマジック(株)	広島大学大学院総合科学研究科	

## ●専攻科生実習先一覧(10社、3大学、1自治体)

(株)アテナシステムズ	オリエント化学工業(株)	京都大学エネルギー理工学研究所	吹田市	奈良先端科学技術大学院大学
AGC(株)	(株)菊水製作所	三和澱粉工業(株)	住友電設(株)	パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステム社
大阪府立大大学院	技研システム(株)	(株)シーアールイー	(株)ティジエール	

## ●専攻科生海外実習先一覧(2国、3大学)

ナンヤンポリテックニク(シンガポール)
リパブリックポリテックニク(シンガポール)
国立勤益科技大学(台湾)



## インターンシップ報告



### 電気工学科4年 藪内 彩峰

私はTOA株式会社のインターンシップに参加させていただきました。そこで見た仕事に対する姿勢が強く印象に残っています。社員の方は自分が作っている製品は我が子であり、一生付き合っていくと仰っていました。仕事に誇りを持ち、とてもいきいきと働いていらしたその姿に強く憧れを抱きました。その他にもたくさんの方々に教えていただきましたが、そんな方々に出会えたことだけでも私の人生においてとても価値ある経験となったと思います。

### 専攻科 物質創成工学専攻1年 山田 和門

私は吹田市水道部で2週間お世話になり、公務員の方が行っている仕事を体験させて頂きました。実習内容としては、市民の皆様が毎日安心・安全に水道水を利用出来るように供給している水源から採水し、一般試験を行いました。また、浄水場の近辺にお住いの方からご相談を受け、現場に向いて対応するという経験もさせて頂きました。公務員のお仕事は市民の皆様との繋がりが密接なことを実感し、今後の将来を考えていく上での貴重な経験をさせて頂きました。





# 行事紹介

## 秋季社会工場見学

電子制御工学科3年 中川 恭佑

私たち電子制御工学科3年は、日本電気硝子株式会社 能登川事業場とパナソニック株式会社アプライアンス社 草津工場へ行ってきました。

日本電気硝子では、硝子が様々な素材の複合剤として利用されていると知り、その幅広さに驚かされました。草津工場では冷蔵庫の製造工程を見学し、ミックス生産という在庫の出ない生産方法を採用していることや、世界の文化に合わせて特徴が異なるという興味深い話も聞くことができました。

また、私たちの先輩が設計した家電も紹介していただき憧れを持ちました。家電の見方が少し変わったように思います。



## 卒業旅行

情報工学科5年 國貞 浩良

情報工学科は今年度、北海道は札幌・小樽に向かいました。この卒業旅行では学生の自由行動に重きを置き、個々人の行きたい所に行けることのできる卒業旅行というものを目標とし企画しました。小樽では到着後すぐ一時解散して自由行動としました。小樽運河やガラス工芸店などが主に選ばれていました。札幌では夕食まで完全自由行動としていたので、学生のグループによって様々な行き先があったと思います。中でも大通公園のオートムフェストは人気でした。この卒業旅行では前述のとおりクラス全員が満足できる卒業旅行を目標にし、それは達成されたと考えます。



## 秋季社会工場見学・卒業旅行 行き先一覧

1～4年生秋季社会工場見学(10月19日(金))

クラス	行き先
1M	東洋シャッター(株)奈良工場・Osaka English Village
1E	音羽電機工業(株)雷テックロジセンター・EXPOCITY・ニフレ
1S	神戸税関・メリケンパーク・(株)ダイヘン六甲事業所
1I	オムロン(株)コミュニケーションプラザ・京都水族館・京都鉄道博物館
1C	塩野義製薬(株)摂津工場・万博記念公園・国立民族学博物館
2M	(株)橋本チエイン京田辺工場・平等院
2E	関西電力(株)堺港発電所・海遊館
2S	(株)西島製作所・海遊館
2I	サントリープロダクツ(株)高砂工場・姫路城
2C	住友化学(株)大阪工場・万博記念公園鶴見緑地・(株)資生堂大阪工場
3M	中西金属工業(株)本社工場・伊丹空港・(株)JALエンジニアリング 日本航空大阪整備センター
3E	コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)京都工場・宇治(平等院)・ダイキン工業(株)滋賀製作所
3S	パナソニック(株)アプライアンス社草津工場・日本電気硝子(株)能登川工場
3I	NICTユニバーサルコミュニケーション研究所・大阪城パークセンター・(株)NTTフィールドテクノ関西支店
3C	三井化学(株)大阪工場・浜寺公園・コスモ石油(株)堺製油所
4M	神戸大学海事科学部・新明和工業(株)
4E	理化学研究所計算科学研究センター・メリケンパーク・神戸海洋博物館
4S	日新製糖(株)今福工場・(株)フタバ製菓工場
4I	神戸海洋博物館・メリケン波止場・理化学研究所計算科学研究センター
4C	理化学研究所多細胞システム形成研究センター(CDB)・ハーバーランド・メリケンパーク・キリンビール(株)神戸工場

5年生卒業旅行(9月26日(水)～9月28日(金))

クラス	行き先
5M	台風による中止
5E	台風による中止
5S	北陸(岐阜・石川)方面 近江町市場・九谷光仙釜絵付け体験・なぎさドライブウェイ・雨晴海岸・トロコ・鐘釣温泉・室堂
5I	北海道方面 小樽・札幌・むらかみ牧場(酪農体験)
5C	九州(福岡・大分・長崎)方面 門司港散策・別府地獄めぐり・阿蘇ネイチャーランド(パラグライダー、マウンテンバイク)・BBQ・ハウステンボス

# 学生の活躍

## 平成30年度 全国大会など

### バドミントン部

#### 全国大会出場報告

機械工学科2年 中藤 大翔  
物質化学工学科2年 中村 烈

僕たちは第53回全国高専大会バドミントン競技にダブルス、シングルスで初出場しました。高専大会のように大きな大会は年に1回しかなく、顧問の先生の中に競技経験者もおられないため、一年間モチベーションを保つのは難しい中、新入生が入ったことで上級生に責任感と危機感が生まれ、大会前は質の高い練習ができました。近畿大会では組み合わせに助けられながら、決勝まで進み、全国大会への出場権を得ることができました。来年は悲願である団体での全国出場、そして個人では全国に行き1つでも多く勝つために一年間しっかりと練習していきたいです。



### 陸上競技部

#### 全国大会出場報告

物質化学工学科4年 東尾 瑚子

8月18日・19日の2日間、私たち陸上部は熊本県民総合運動公園陸上競技場で開催された全国大会に出場しました。近畿大会で上位の者(男子3位、リレー・女子は2位以内)および標準記録突破者の17名が参加しました。1年間この大会に向けて練習する中で、なかなか記録が伸びなかった選手や怪我に悩まされた選手など様々ですが、部員全員一丸となって戦えたと思います。このような素晴らしい舞台に立たせていただけたことに心から感謝します。来年の全国大会に向けて日々練習を積んでおりますので、今後とも応援よろしく申し上げます。



## 水泳部

### 全国大会出場報告

機械工学科3年 柿 和馬

水泳部は8月31日から2日間長崎市民総合プールにて開催された、全国高専大会に参加しました。

力及ばず女子からの参加はできませんでしたが、合計で16名の選手が大会に出場、1年生からの出場もありました。しかし全国の壁は予想していたよりもはるかに高く、3年生1名が100m背泳ぎで3位、200m背泳ぎで4位と健闘しましたが、他の選手は思うように結果を残せなかったため悔しい思いをしました。

その悔しさがバネになったのか、オフシーズンだからこそ力を入れることができる筋力や持久力のトレーニングなど、より多くより良い結果を残すため、厳しく楽しい部活を部員全員でつくっています。これからも応援よろしくをお願いします。



## 卓球部

### 全国大会出場報告

情報工学科4年 大東 風生

本年は近畿地区大会において史上初となる女子団体戦が行われ、奈良高専は参加最低人数ぎりぎりの3人で試合に臨み、優勝し全国大会に出場しました。初めての団体戦は新鮮であり、部員同士で戦略を相談するなどして絆を深めることができました。全国大会に出場した際には、出場したチームの選手層の厚さや各選手の技術力の高さに圧倒され、予選三位で敗退しました。来年も全国大会出場を目指して、部員を増やすことや個々の技術を高めることを目標に努力していきたいです。

最後に、近畿・全国ともに大会の引率やサポートをして頂いた顧問の先生方、支えてくださる家族の方々、部員達に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。



## 弓道部

### 全国高専弓道大会に出場して

電子制御工学科4年 松倉 斗希也

弓道部は、8月29日、30日に鹿児島アリーナにて開催された第5回全国高専弓道大会に男子団体、女子団体、女子個人1名が出場、各選手が最大限の力を発揮し、女子団体優勝、射道優秀賞獲得。さらに男子団体3位に入賞しました。

先輩が残した好成績のプレッシャーに何度も押しつぶされそうになりましたが、的中僅か一本差で全国大会決勝まで勝ち残り、目標であった「男女ともに入賞」という結果を残せました。これは顧問の先生、コーチ、先輩方のご指導のもとで部員全員が努力を重ね、また、それを支え、応援してくださった多くの方々のお陰だと思えます。本当にありがとうございました。

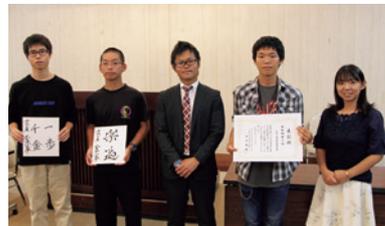


## 将棋部

### 全国高専将棋大会に出場して

物質化学工学科3年 柴田 紘希

奈良高専将棋部は第21回から24回までの全国高専将棋大会において、団体戦4連覇を果たしています。そして迎えた今年の第25回大会、史上初の団体戦5連覇を目指し、強い意気込みをもって大会に臨みました。しかし、団体戦優勝は叶わず、団体戦3位という結果になりました(それでも、5年連続入賞)。また、大会では、戸辺誠 七段、本田小百合 女流三段による指導対局や、他の高専の方との交流など貴重な体験ができました。今回の大会で各自が反省点や目標を見つけたと思います。来年こそ団体戦優勝できるよう日々の練習に励みたいと思います。将棋部への入部も大歓迎です。



### 平成30年度(前期) 学生表彰<特別賞>

\*特別賞は全国大会またはこれに準ずる大会において、優勝または準優勝した個人または団体に授与されます。



○第5回全国高等専門学校弓道大会 女子団体の部 優勝・射道優秀賞

物質化学工学科4年 松生 愛  
電気工学科3年 木下 さくら  
電気工学科3年 日比 二菜  
物質化学工学科3年 栗原 悠花

○KOSENセキュリティ・コンテスト2018 優勝

情報工学科5年 北村 圭輝  
情報工学科5年 藤原 裕大  
情報工学科5年 前田 宏希  
情報工学科5年 森田 悟大

○第5回全国高等専門学校弓道大会 射道優秀賞

電気工学科3年 吉村 勇人

○ロボカップジュニア ジャパンオープン2018 レスキュー Line部門 優勝  
ロボカップジュニア 世界大会2018 第5位  
Best Software Programming Award 受賞

電子制御工学科2年 森本 奏多

### 近畿地区国立高専外国人留学生交流会

平成30年10月6日(土)~7日(日)に近畿地区国立高専外国人留学生交流会(担当校:明石高専)が兵庫県で行われ、近畿地区国立高専の留学生31名(本校からは9名)が参加しました。この交流会は、留学生が一同に集まって情報交換などを行うことによりお互いの理解を深め、交流を図ることを目的に行っています。今年は台風の接近が危ぶまれていましたが、無事開催できました。

初日は「日本のマチュピチュ」とも呼ばれる「天空の城 竹田城跡」、2日目は日本で初の文化遺産である平成大修理後の「姫路城」を訪れました。また、書写山園教寺での写経体験、ヤマサ蒲鉾でのちくわ作り体験も行いました。

他高専の様々な留学生と一緒に交流しながら、日本の歴史や文化に触れ、大変充実した2日間となりました。





# 学生会から 「新役員紹介」

## 会長 吉田 永遠(電気工学科3年)

学生会会長に就任しました、吉田永遠です。学生会役員は昨年の学生会副会長に引き続き2年目ですが、学生会会長として学生会がより活発になるように精一杯頑張ります。

## 副会長 橋口 司(機械工学科3年)

学生会副会長に就任しました、橋口司です。一昨年度と昨年度に経験した書記としての視点を活かし、更なる学生会の発展に努めたいと思います。



新学生会役員と後藤校長、片倉学生主事、玉木主事補

## 副会長 菊田 一真(情報工学科2年)

同じく学生会副会長に就任しました。役員になるのは初めてですが、学生会、ひいては学校全体をより良くするために、役員補佐の経験を活かして精一杯頑張ります。

## 書記 坪内 来人(電気工学科2年)

昨年度に引き続き学生会書記を務めさせていただきます、坪内来人です。2年目なのでしっかりと1年目の見本となるよう頑張ります。

## 書記 中田 壮一郎(電子制御工学科1年)

学生会書記に就任しました、中田壮一郎です。学生会役員としてしっかりと責任感を持って頑張りたいです。

## 会計 赤木 桃果(物質化学工学科2年)

昨年度に引き続き学生会会計に就任しました、赤木桃果です。昨年の経験を生かして、努力します。よろしくお願いします。

## 会計 高岡 優羽(電子制御工学科1年)

学生会会計に就任しました、高岡優羽です。1年生で初めての学生会役員ですが、よりよい学生会にできるように精一杯努めたいと思います。



## クラブ・同好会紹介

vol.19

体育部		文化部	同好会
アーチェリー	水泳	からくり	化学同好会
合気道	ソフトテニス	機械研究会	合唱同好会
弓道	卓球	軽音楽	クイズ研究会
剣道	バスケットボール	茶道	現代視覚文化研究会
硬式テニス	バドミントン	将棋	生協学生同好会
硬式野球	ハンドボール	情報処理研究会	システム開発同好会
サッカー	バレーボール	吹奏楽	数学同好会
柔道	ラグビーフットボール	美術	電気技術研究会
少林寺拳法	陸上競技	放送	



## 合気道部

### 電子制御工学科4年 野田 悠紀

こんにちは。奈良高专合気道部です。私たちは火、木、土の週3日、そのうち火曜日は外部のコーチにご指導いただき活動しています。活動日や活動時間については、部員の意見を聞いて適時対応しています。

合気道は他の武道と異なり、優劣をつける試合がなく、力のぶつけ合いをしません。向かってくる相手の戦意を静め、和合する。争わず調和させる法を体得する武道です。日々の稽古の成果は演武大会で披露し、昇級、昇段試験を受けてさらなる技術の向上を目指すことが目標となります。しっかり稽古を積むと、在学中に段位取得! 入部時に未経験の人が多く、体を鍛えて勝負するスポーツが苦手な人にもお勧めです。



## 放送部

### 電子制御工学科4年 新川 主安

奈良高专放送部では普通高校の放送部とは内容が異なり、入学式やスポーツ大会、高専祭など、奈良高专の学校行事などにおいてPA(Public Address)を行っています。PAとは音響伝達やその設備のことを指す専門用語です。マイク、ミキサー、プロセッサー、アンプ、スピーカーなどの音響機器を用いて、学生だけで設営、運営などを1から10まで行っています。

今年は新しい機材として、デジタルミキサーを導入しました。高校生では普通触る機会がない機材を触ることができる体験が出来るのが放送部の良いところです。

放送部は音響に対し知識がなくても高専では活動できる年数が長いのでたくさん学べ、経験でき、楽しく活動することができます。





## KOSENセキュリティ・コンテスト2連覇達成!

情報工学科5年 北村 圭輝、藤原 裕大、前田 宏希、森田 悟大

9月1日、2日にかけてKOSENセキュリティコンテスト2018が開催されました。この大会の開催は今年度が3度目の開催で、去年もinsecureというチームで出場し、優勝をおさめました。今年は奈良高専からはinsecure(情報工学科5年 北村圭輝、藤原裕大、前田宏希、森田悟大)とincomplete(電子制御工学科5年 萬代裕輔、情報工学科4年 中野雄貴、藤本祥、2年 比嘉隆貴)という二つのチームが出場していました。

この大会は現地に赴いての参加と、インターネットを介したリモートでの参加が可能なのですが、私たち insecure は気合を入れる意味もあり、福岡市の現地会場で参加しました。

チーム全員が5年生、また昨年の優勝経験もあるということで負けられない戦いになりましたが、プレッシャーが良い方向に作用

して気持ちよく問題を解くことができ、2日間ある大会期間のうち、2日目の開始とともにすべての問題に正答し、2連覇を達成することができました。また、惜しくも表彰とはなりませんでした。incomplete も他高専と鏖を削って4位と大健闘でした。

チームの団結や、引率の山口賢一先生のおかげで、大変良い結果を残すことができました。来年度も奈良高専の優勝を期待しています。



## 高専ロボコン2018近畿地区大会 参加報告

Aチームリーダー 電子制御工学科3年 宮原 康輔

Bチームリーダー 電子制御工学科4年 服部 圭一郎

10月28日(日)近畿大学記念会館にて行われた高専ロボコン2018近畿地区大会に、私たちはAチーム「一念通天」、Bチーム「Pawn」の2チームで出場しました。

本年度のルールはフィールド上に並べられたテーブルにペットボトルを立て、その速度や本数を競うというルールでした。高専ロボコン始めて以来の本格的な自動ロボットの開発ということで、5月から約半年間、ペットボトルが思うように立たず、辛く苦しい日々が続いた時期もありました。しかし、優勝目指して諦めず取り組み続けた結果、自信を持てるロボットをつくり上げることができました。大会当日ではロボットのトラブルにより思うような試合ができず、両チームとも予選敗退という結果になり、全国大会への進出は叶いませんでした。しかし、Aチームは大会で唯一全てのテーブルにボトルを立てて特別賞を受賞し、Bチームは遠距離から一番狭いテーブルにボトルを立てることができる能力を見せ、両チームともに観客を大いに驚かせることができました。

最後に、この場をお借りしまして、私達を支えてくださった指導教員の方々や見守りの先生方、事務職員の方々、そして最後

まで応援してくださった皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。そして、この悔しさを胸に来年は必ず全国大会へ出場し、優勝を目指していく所存です。来年度もどうか私達ロボコンプロジェクトの応援をよろしくお願いいたします。



## グローバル教育センターから ISTS2018 国際セミナー報告

電子制御工学科5年 吉村 勘太郎

10月6日～10月14日にかけて行われた、ISTS(International Seminar on Technology for Sustainability) 2018に参加しました。このプログラムは全国の高専、技科大生、海外からはシンガポール、タイ、インドネシアなどから来た学生約150名によるプログラムです。参加費は、6万円で、交通費、ある程度のご飯代が含まれています。プログラムの内容は様々な企業から提案される課題に対する解決案を提示する、ハッカソンのようなものです。

ハッカソンと聞いて、身構える人も多いと思います。もちろん、技術力があるに越したことはありません。しかし、参加学生の中には環境システム系の学科や、英語系の学科など、技術に触れる機会が少ない学生もたくさん参加しています。プログラムでは、技術に加えて、物事の進め方についても深く学ぶことができます。非常にためになるセミナーもたくさんあるので、聞くと世界観がちよっぴり変わると思います。だから心配せず参加しましょう。

奈良高専からは僕一人の参加となったのですが、友達と参加しなくても何も気負うことはありません。気づいたら、同じ境遇で来ている人と友達になれます。僕自身も来年参加する予定なので、もし悩みがあったら相談してください。みなさんの参加を心よりお待ちしております。





## 香港IVE (香港專業教育學院) との国際交流

グローバル教育センター特命助教 板倉 和裕

奈良高専では昨年4月にグローバル教育センターを発足させ、海外学生受入・派遣事業の充実に取り組んでいます。ここでは本校が去年新たに国際交流協定を締結した香港IVE (香港專業教育學院) との交流について紹介したいと思います。

まず、香港IVE学生の短期訪問受入活動について紹介します。これは夏季休業期間に同校学生の短期訪問を受け入れ、本校の学生と国際交流を行うものです。実際の交流活動は夏休みに行われますが、本校の学生は約2か月前から週1回のミーティングを行い、受入準備を進めていきます。今年はGECEP履修生の一年生を中心とする23名の学生が参加し、日本文化紹介班、学校紹介班、アイスブレイキングゲーム作成班の3グループに分かれて準備を進めていきました。今年度、香港IVEの一行は8月16日から8月24日の日程で奈良に滞在され、香港IVEの学生15名と教員2名が本校を訪問しました。本校で行われた交流活動では、機械工学科と情報工学科でのプロジェクトワークに加え、両校の学生がお互いの学校紹介と文化紹介を行ったほか、アイスブレイキングゲームやキャンパスツアーも実施しました。キャンパスツアーでは、茶道部の協力により、伝統的な茶会(ティーセレモニー)も体験してもらいました。本校学生は学外で実施された企業見学に同行した他、奈良・京都・大阪の観光名所にも一緒に出かけるなどし、香港の学生との交流を深めました。参加した学生にとっては、英語で積極的にコミュニケーションをとり、自国の文化や学校生活について話し、香港の文化についても学ぶ大変充実した1週間となりました。

次に、香港IVEへの短期派遣プログラムについて紹介します。

今年は、8月26日(日)から9月5日(水)の日程で実施され、本校の学生8名を含む計16名の高専生が、中国本土への企業視察ツアーと香港での技術研修に参加しました。香港到着後、まずは熊本高専が募集した他高専の学生および香港IVEの学生たちと合流し、中国本土の深圳へ向かいました。中国では深圳市のほか、広州市にも滞在し、中国公営のピアノ製造会社や地元の新聞社の視察、珠江でのナイト・クルーズも楽しみました。後半はおもに香港IVE(沙田校)で研修を行い、IVEの教員らによる英語での講義とワークショップに参加しました。研修ではビルメンテナンスにおけるサーモグラフィ技術の有用性や中国の伝統的思想の一つである風水について学んだほか、VRを用いた技術訓練プログラムも体験しました。また、週末には香港IVEの学生と一緒に観光や買い物に出かけるなどし、さらに交流を深めました。香港IVEでの活動最終日の晩に行われたフェアウェル・パーティーでは両校の学生代表がスピーチを行ったほか、本校の学生たちは香港滞在中に世話をしてくれた香港IVEの教員と学生たちに感謝の気持ちを表すため、現地で千羽鶴を作成しプレゼントしました。国際交流に加え、高専生ならではの技術研修を通し、一人ひとりの視野を大きく広げる貴重な機会となりました。

以上の活動はいずれも、異なる文化的背景を持つ者同士が英語を介して積極的にコミュニケーションを取り、自身にとっては異質な文化や価値を尊重し、受容、適応する「異文化コミュニケーション力」を育むことが期待されています。グローバル教育センターでは本校学生の実践的な英語力と多様な文化への理解力の向上を目標とし、国際交流活動のさらなる充実に取り組んでいきます。



## 第52回高専祭の様相

学生課学生係

11月3日(土)・4日(日)に第52回高専祭が高専祭実行委員会主催で開催されました。クラブ等による模擬店や学科による科展、合唱、吹奏楽の演奏、軽音楽ライブなどが盛大に催され、今年は2日間とも晴天に恵まれたこともあり、昨年より900名も多い約3,600名の方にご来場いただきました。写真を表紙に8枚、こちらはモノクロですがあと8枚掲載して当日の様相をご紹介します。

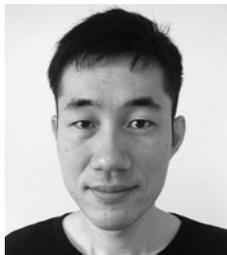




## カウンセラーだより

### <方向音痴と私>

心理カウンセラー  
(臨床心理士)  
友滝 善久



皆さん、初めまして。今年度6月より、毎週月曜日に学生相談室に来ております友滝善久と申します。着任当初から学校の広さや、図書館の本の多彩さなどに驚かされています。

着任から数ヶ月が経ちましたが、私は方向音痴が故に現在もまだ校内で何度か道に迷っている状況です。新しい場所に行く方向が分からなくなりやすい私ですが、迷っていることを楽しめる時と迷って凹んでしまう時があります。同じ「迷う」

という事象において、なぜこんなに感じ方が違うのか…。楽しめる時は、時間に余裕があるとか、十分な睡眠がとれているとか、おなかがいっぱいの時など気持ちに余裕がある時かもしれません。逆に凹んでしまう時は、体力的に疲れていたたり、時間がない時だったり、誰かとケンカをした後など、気持ちに余裕のない時なのかもしれません。

同じ1つの事象に対してでも、その時その人の置かれている状況によって感じ方は変わると思います。いつもなら許せることが、なぜかある時は許せなかったというような経験はありませんか?また逆に、いつもは許せないのに、なぜかある時は許せたということはありませんか?許せない/許せた事象のみについて考えることも大事ですが、同時にその時のご自身の状況(睡眠時間、学業、友人関係、空腹感など)についてあれこれ振り返ってみることも大事かと思えます。

最後に、校内で迷っている私を見つけた際には道を教えて頂ければ幸いです。

### <快適な眠りからはじまる毎日>

心理カウンセラー  
(臨床心理士)  
栃尾 順子



はじめまして。今年の5月から学生相談室に来ています。どうぞよろしく申し上げます。最近、睡眠の大切さを改めて実感しています。そこで、書籍などから少しご紹介させていただきます。

皆さんはどれくらい睡眠をとっておられますか。24時間営業のお店やPC、スマホ等、私たちは年齢を問わず、夜遅くまで起きていることが多くなっているようです。適切な睡眠時間には、個人差があるようですが、大切なことは睡眠のとり方にもある

ようです。

ちょっとした睡眠不足でも、重なると気づかないうちに心身の健康や学習面でのパフォーマンス、意欲や感情面に影響が及ぶことがあり、意識的によい睡眠をとる必要があるそうです。

睡眠中には、情報を記憶・整理する作業が行われているため、特に受験勉強のように試験の時に知識を引き出す必要がある場合を考えると、記憶がしっかりと定着されるように睡眠に配慮した生活を心掛ける必要があります。定期試験の時の、いわゆる一夜漬けは、長く記憶に残り難いそうです。

また、成長ホルモンは睡眠中に分泌されるため、できれば夜はまとまった睡眠がとれるよう心掛けてください。受験を控えているみなさんもおられると思いますが、睡眠や食事にも気を付けて、大切な時期を乗り切ってください。

月曜日の3時から6時まで学生相談室に在室しています。どうぞ気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

参考図書：NHKスペシャル取材班「睡眠負債」2018他

### 学生相談の利用について

心配事や相談事があれば、学生相談(カウンセリングルーム、コミュニケーションルーム)へ気軽にきてください。もちろん、保護者の方もご利用可能です。

◎利用時間 ※は女性

曜日	担当者	開室時間	予約の要否
月	友滝(ともたき)善久 (臨床心理士)	12:15 ~ 15:15	予約制(下の予約方法参照)
	栃尾(とちお)順子※ (臨床心理士)	15:00 ~ 18:00	
	上原(うえはら)裕介 (社会福祉士)	10:15 ~ 17:00	
火	福田(ふくだ)道代※ (臨床心理士)	15:00 ~ 18:00	予約不要
水	奥村(おくむら)和弘 (臨床心理士)	11:15 ~ 18:00	
	樋口(ひぐち)真須人 (学生支援センター長)	14:00 ~ 17:00	
木	中村(なかむら)善一 (特別相談員)	14:00 ~ 17:00	予約制(下の予約方法参照)
	中里(なかざと)昌子※ (社会福祉士・精神保健福祉士)	11:15 ~ 18:00	
金	小原(おはら)宏基 (臨床心理士)	11:15 ~ 18:00	

◎予約方法 カウンセリングルームまたは保健室にTEL：0743-55-6172、0743-55-6034 メール：soudan@jimu.nara-k.ac.jp



学生支援センター  
(学生相談)  
Webページも  
あります。

### ○学生相談室の場所



## 高専スペースキャンプ2018 最優秀賞受賞!

このイベントは宇宙での安全につながるモノづくり教育を目的に8月30日～9月2日新居浜市のマリパーク新居浜にて開催されました。全国11高専から39名の学生が参加し、他高専混合編成の8つのグループに分かれ、電力使用効率や無線通信を介したデータ取得等の競技に取り組みました。本校電気技術研究会の部員が日頃の成果を発揮し、見事、最優秀賞や優秀賞、電源賞といった輝かしい賞を受賞しました。

最優秀賞 電気工学科3年 上谷 仁亮 君(Dグループ)  
 優秀賞 電気工学科3年 川口 功希 君(Gグループ)  
 優秀賞 電気工学科3年 松井 祐樹 君(Hグループ)  
 電源賞 電気工学科2年 島田 宇伸 君(Aグループ)

また、最優秀賞を受賞した上谷君から次の感想が寄せられました。

### 高専スペースキャンプ2018 CubeSatモデル大会に参加して

電気工学科3年 上谷 仁亮

電気技術研究会という同好会を知らないという方も多いのではないのでしょうか。電気に関する研究を主な活動として、これまでにコイルガン(去年の高専祭で展示)や米国NOAAの気象衛星からの電波受信実験を行ってきました。

この夏休みには愛媛県新居浜市にて開催された「高専スペースキャンプ2018」に参加しました。この大会では、CubeSatとよばれる10cm四方の小型人工衛星のモデルを、他高専学生との混合編成の8チームがそれぞれ工夫を凝らして製作します。そして、太陽光パネルからの限られた電力でのデータ取得率や姿勢制御の正確さ等を競いました。私の参加したチームが最優秀賞となったほか、他の部員の参加チームも各賞を受賞することができました。製作過程では、日々の活動で得られた技能・知識を発揮できる場面も多くありました。電気技術研究会では、これからも様々な研究に取り組んでいく予定です。



## 単車安全講習会

9月28日(金)単車事故の防止や交通マナーの向上を目的に奈良自動車学校の協力のもと開催し、新規原付免許取得者等8名が参加しました。内容は、二輪車事故の紹介、死角の検証、危険予測方法、交通法規等の講義に続き、車両点検、走行実技演習等が行われました。参加した学生からの感想が寄せられました。



物質化学工学科3年 岩谷 柊二

原動機付自転車は免許が筆記試験のみで取得でき、乗り物として比較的安価で、手軽に乗ることができます。しかしその手軽さの反面、交通事故も後を絶えません。その可能性を下げるために単車安全講習会を受講しました。座学では事故を起こす、巻き込まれる、バックミラーの死角、急ブレーキの危険性、四輪車以上に小回りが利かないことなどについて学びました。実技では道路標識やウィンカーを出すタイミング、点検方法などの再確認をすることができました。この講習を経て、今までの運転を見直し、より一層安全運転に努めたいと思います。

## 平成31年度入学者選抜日程

### ■募集人員

学 科	募 集 人 員
機 械 工 学 科	40名
電 気 工 学 科	40名
電 子 制 御 工 学 科	40名
情 報 工 学 科	40名
物 質 化 学 工 学 科	40名

### ■選抜方法

入学者の選抜は推薦選抜と、学力選抜の2つの方法で行います。

推薦選抜	出願期間(郵送)	平成31年1月 7日(月)～11日(金)
	(中学校教員による持参)	平成31年1月10日(木)・11日(金)
	検査日	平成31年1月19日(土)
	内定発表日	平成31年1月23日(水)
学力選抜	入学確約書提出期限	平成31年2月 1日(金)
	出願期間	平成31年1月30日(水)～2月5日(火)
	検査日	平成31年2月17日(日)
	入学確約書提出期限	平成31年3月 4日(月)
合格発表日		平成31年2月21日(木)

## 行事予定 (12月～3月)

- ◆12月 6日(木) マリンバ演奏会(3年)
- ◆12月 9日(日) 入試説明会
- ◆12月10日(月) 公開授業(14日まで)
- ◆12月13日(木) 人権特別講演会(5年・専攻科)  
学寮年末大掃除
- ◆12月20日(木) 進路ガイダンス(4年)
- ◆12月21日(金) 閉寮
- ◆12月22日(土) 冬季休業(1月4日まで)
- ◆1月 4日(金) 全国高専体育大会(ラグビー 9日まで)
- ◆1月 6日(日) 開寮・寮生集会
- ◆1月 7日(月) 全校集会(短縮授業2)
- ◆1月10日(木) 保健衛生教室(1年)  
学寮留学生と語る会
- ◆1月15日(火) 金曜振替授業
- ◆1月17日(木) 入学試験前全校清掃(短縮授業3)
- ◆1月18日(金) 特別日課(学生登校禁止 20日まで)
- ◆1月19日(土) 平成31年度入学試験(推薦)
- ◆1月26日(土) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(27日まで)
- ◆1月27日(日) 救急法講習会(AED)
- ◆2月 6日(水) 補講
- ◆2月 7日(木) 1～5年生学年末試験(14日まで)
- ◆2月15日(金) 特別日課(学生登校禁止 19日まで)
- ◆2月17日(日) 平成31年度入学試験(学力)
- ◆2月20日(水) 補講
- ◆2月21日(木) 1～4年生答案返却期間(25日まで)  
入試合格発表
- ◆2月25日(月) 全校集会・閉寮
- ◆2月27日(水) 5年生不可(A)再試験
- ◆3月19日(火) 平成30年度卒業式・修了式
- ◆3月20日(水) 学年末休業(31日まで・春季休業4月1～2日まで)
- ◆3月25日(月) 平成31年度入学・入寮予定者オリエンテーション

### 編集後記

平成最後のCAMPUS Autumn号で多くの学生さんの活躍ぶりを紹介することができ、充実した誌面とすることができました。ホームページでの学生さんの活躍を取り上げる頻度もとても多く、スポーツはもちろん各種コンテスト、学会などいろいろな活動に取り組みることができたのかと思います。これから学年末に向けて、勉強や研究が忙しくなりますが、体調管理に気をつけて一層充実した高専生活が過ごしてもらえればと思います。  
 奈良高専広報センター

### 前号の訂正とお詫び

前号のCAMPUS130号2018SUMMERの9ページの書籍名に誤りがありました。次の通り訂正し深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ありません。  
 (誤)「お喋りな筋肉」  
 (正)「おしゃべりな筋肉」